

教科名	Approaches to Basic Research
責任者名	坪井 美行(生理学 専任講師)
学期	前期
対象学年	3学年
授業形式等	演習

◆担当教員

坪井 美行 (生理学 専任講師)
米山 隆之 (歯科理工学 教授)
小泉 寛恭 (歯科理工学 准教授)
深瀬 康公 (歯科理工学 専任講師)
掛谷 昌宏 (歯科理工学 専任講師)
篠田 雅路 (生理学 教授)
鈴木 直人 (生化学 教授)
田邊 奈津子 (生化学 准教授)
津田 啓方 (生化学 准教授)
山口 洋子 (生化学 助教)
小林 真之 (薬理学 教授)
中谷 有香 (薬理学 助教)
今井 健一 (細菌学 教授)
田村 宗明 (細菌学 准教授)
神尾 宜昌 (細菌学 准教授)
川戸 貴行 (衛生学 教授)
田中 秀樹 (衛生学 准教授)
尾崎 愛美 (衛生学 助教)
高橋 富久 (解剖学Ⅰ 教授)
二宮 禎 (解剖学Ⅰ 准教授)
藤原 恭子 (解剖学Ⅰ 准教授)
大橋 晶子 (解剖学Ⅰ 助教)
磯川 桂太郎 (解剖学Ⅱ 教授)
湯口 真紀 (解剖学Ⅱ 助手)
浅野 正岳 (病理学 教授)
角田 麻里子 (病理学 助教)
堤 博文 (法医学 専任講師)
近藤 真啓 (法医学 准教授)
佐藤 紀子 (健康科学 准教授)
三澤 麻衣子 (医療人間科学 専任講師)
渡辺 孝康 (基礎自然科学分野 (化学) 助教)

林 良憲 (生理学 准教授)
平場 晴斗 (歯科補綴学Ⅲ 助教)
人見 涼露 (生理学 助教)
山本 安希子 (病理学 助教)
大橋 一徳 (薬理学 助教)
山本 清文 (薬理学 助教)
岡野 雅春 (法医学 助教)
福井 怜 (病理学 助教)
中野 善夫 (化学 教授)

◆一般目標 (GIO)

歯科医学に関する新たな知見を得るための科学的創造精神と柔軟な思考を身につけることができる。

◆到達目標 (SBOs)

これまでに履修してきた知識を基に、①基礎医学の問題点や疑問点を見つけ出すことができる。②その問題点の解決の手段や実際に解決する能力を身につけることができる。

◆評価方法

研究に取り組む態度(約束、規律を守ったか、研究への積極性の程度、目標への到達度など、70%)、成果報告書(30%)などを総合して判定し、成績評価表示で示します。優秀な研究の成果報告書は図書館に掲示して開示します。それを見ることにより、すべての学生に成果報告書の良い書き方などのフィードバックを行います。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	備考
坪井 美行	水曜日・土曜日 終日 1号館4階412号室	

◆授業の方法

教養と基礎医学教室の助教以上の教員と数名の学生で、研究計画の立て方、研究の遂行、結果の提示と評価、考察などの基礎研究過程を体験したり、基礎研究では欠かせない書籍や文献検索、それらの要旨をまとめることなどを体験してもらいます。その過程で、成果報告書作成を作成してもらいます。

◆DP・CP

[DP-3]多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。
 [DP-4]自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。
 [DP-5]新たな課題の解決策をみい出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦することができる。
 [CP-3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。
 [CP-4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。
 [CP-5]研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

教員と十分話し合い、実験計画を立てること。その計画が遂行できるように十分な準備を行い研究に臨むこと。

◆準備学習時間

短い時間での研究なので十分に準備をして臨むこと。文献検索なども含めて、準備学習は毎回1時間程度を充てること。

◆全学年を通しての関連教科

解剖学 (2年)、組織学 (2年)、生理学 (2年)、生化学 (2年生)、薬理学 (3年後期と4年前期)、病理学 (3年)、衛生学 (3年)、法医学 (6年)、歯科理工学 (2年後期と3年前期)、細菌学 (3年)、健康科学 (1年前期)、医療人間科学 (2年)、化学 (1年)、自主創造の基礎1 (1年)、自主創造の基礎2 (1年)

◆予定表

注意事項：添付資料の注意事項を確認のこと。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	全員	4.5	7 ~ 8	【遠隔】ガイダンス1	課題選択の手順について理解できる。	坪井 美行	
	全員			課題情報の入手期間1 4月5日 (火) ~ 4月7日 (木)	希望選択課題の提出を行うために、教員の課題 (動画や資料) の紹介情報を見て確認する。希望の課題が見つかったら先生にメールを送り、受講希望の旨を伝え、許可を得る。	担当教員	
2	全員	4.7	7 ~ 8	【遠隔】ガイダンス2 4月7日 (木) 8時限目 (16:00 ~)	テーマは第1~8希望を選択し、4月7日 (木) 午後4時までにメールにて坪井 (tsuboi.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp) に提出してください。 午後4時より遠隔授業で、医中誌等での文献検索の方法を学ぶ。	坪井 美行	
	担当教員			希望者数超過テーマの抽選	希望者数超過テーマについては抽選とします。抽選は世話人の教員が行います。	坪井 美行 田中 秀樹	
3	全員	4.12	7 ~ 8	【遠隔】ガイダンス3 4月12日 (火) 午後3時より (一次内定者の発表、その後の予定の説明、実験ノートの取り方など)。	実験ノートの取り方を理解できる。 一次募集でテーマが決まらなかった学生は、二次募集に応募してください。定員に満たない課題等の情報をメールにて発信します。それを参考にして、課題の主催者の先生にメールして受講希望許可を得てください。	坪井 美行	
	一次募集でテーマが決まらなかった学生			課題情報の入手期間2 4月12日 (火)~4月14日(木) 二次募集のための情報収集の期間	一次募集でテーマが決まらなかった学生は、再度希望選択課題の提出を行うために、その課題担当教員にメールにて課題を選択することの許可を得る。選択課題は4月14日 (木) 午後4時までに坪井 (tsuboi.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp) に提出してください。 一次内定者は担当教員に内定の挨拶のメールを出す。 二次募集の選択届提出および抽選 (抽選は世話人の教員が行います。)	担当教員	

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
4	全員	4.14	7 ~ 8	【遠隔】ガイダンス4 4月14日 (木) 午後 3時より遠 隔授業あり (研究に関 する諸注意 など)。	内定者は授業後、今後のApproaches to Basic Research(ABR)のやり方など担当教員とメールで打ち合わせをしてください。 研究に関する諸々の規則を理解する。	坪井 美行 田中 秀樹	
	担当教員			2次募集の希望者数超過テーマの抽選	選択課題を確定します。		
5-17	火曜日履修者			【遠隔】火曜日履修者特別研究 4月19日 (火) ~ 7月19日 (火) の間の火曜日 ただし5月3日は憲法記念日でお休みです。 7~8時限目	全13回の特別研究の実施	火曜日担当教員	
5-17	木曜日履修者			【遠隔】木曜日履修者特別研究 4月21日 (木) ~ 7月21日 (木) の間の木曜日 ただし5月19日は球技大会のため休講です。5月5日はこどもの日ですが通常授業です。 7~8時限目	全13回の特別研究の実施	木曜日担当教員	

閉じる

Topに戻る